

「未来戦略推進プラン2020(案)」パブリックコメント

- ・実施期間 令和2年3月1日(日)～令和2年3月31日(火)
- ・周知方法 広報としま3月1日号掲載 区ホームページ掲載
- ・閲覧場所 区ホームページ、企画課、行政情報コーナー、区民事務所(東・西)、図書館
- ・受付方法 はがき0件、ファックス0件、Eメール2件、郵送1件、持参0件
- ・提出意見数 61件

■案に対するご意見と豊島区の考え方 ※ここにご紹介するご意見については、プライバシーの関係からいただいた方の住所・氏名は掲載しておりません。

番号	ご意見等の概要	件数	区の考え方
1	【区で使用する通信機器等について】 行政機関で使う通信関連機器は日本製のものにすべきです。 また、区としてサイバー攻撃へのセキュリティ対策をしっかりやるべきです。	2	区施設で使用する通信関連機器については、セキュリティ上の機密性、完全性、可用性を含めた機器の性能等を総合的に判断して選定しています。 区のサイバー攻撃対策については、区のネットワークがサイバー攻撃を受けないよう、また、万が一攻撃を受けた場合でも情報漏えいを防ぐ各種対策を取っています。
2	【新型コロナウイルスについて】 「新型コロナウイルス」の呼称を「武漢肺炎ウイルス」等とするべきです。	1	新型コロナウイルスの呼称につきましては、区では、国及び東京都等において広く周知されている「新型コロナウイルス感染症」の名称を使用しております。世界的にも特定の地名を含む名称は用いられていません。 今後も国・都・関係機関等と連携し、感染症対策に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。
3	【インバウンドについて】 インバウンドに関する施策は特定の国だけでなく、多くの国を対象として計画すべきです。	1	観光情報については、多言語対応及び外国人観光客にもわかりやすいピクトグラム(公共空間で使用される伝達効果が高い絵記号)の活用を行っています。 多言語対応については、来訪者の多い国や言語を優先して対応を行っています。
4	【外国人の居住および雇用について】 特定の国から来て、豊島区に居住している外国人については、滞在資格の取り消しができるようにすべきです。また、企業等は同国の外国人を雇用するべきではありません。	2	国際文化都市を目指す豊島区といたしましては、外国人住民への支援と地域社会の構成員として社会参加を図れるよう取組みを進めることを、区政の基本指針である「豊島区基本計画」に明記しています。 今後も豊島区に住む外国籍区民との相互理解を進め、国籍や人種の違いを超え、地域社会の構成員として共生する多文化共生社会の実現を目指してまいります。

5	<p>【広報としまについて】 区の治安が良好に保たれることを第一に考え、広報としま特集号では、公安・安全保障関係の人のインタビュー記事等を掲載するべきです。</p>	1	<p>広報としまの編集方針では、区政の重要な課題や、その取組みについての情報をタイムリーに掲載することとしています。 特集記事のゲストの掲載については、テーマに沿って選定してまいります。</p>
6	<p>ここ数年、台風や大雨、地震など毎年災害が起きています。10/12の台風時に避難所とされた椎名町小学校に行きましたが、外壁工事で足場の他、外壁シートもかかったままで、強風に煽られたままで危険な状態にみえました。台風の接近は予め分かっていたので対策が必要だったと思います。また、避難者を迎える区役所職員も2名のみで、学校の主事の方(?)の他は、近所のボランティアの方のみで対応していました。とても誠実に対応頂きましたが人数が少なすぎます。また高齢者などは2階の体育館まで雨で濡れた階段を登ったり大変です。避難所対応の人員や受入れ体制、施設の整備など早急に見直しをしてください。</p>	1	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。 今後につきましては、風水害時においても、区職員8~10名体制で対応予定でございます。 しかしながら、行政職員のみで避難所を運営するのは困難であり、地域住民及びボランティアの皆様の協力が必要不可欠です。 また、施設によっては、体育館が2階に設置されていることでご不便をおかけしており、申し訳ございません。 受入れ体制や高齢者等の配慮が必要な方につきましては、実際に避難所運営訓練を実施する中で、受付・名簿の整備や和室・1階の教室を臨機応変に使用していくことを、訓練を通じて周知徹底してまいります。</p>
7	<p>今回の台風で地震の際の避難場所と台風等の際の開設される避難所が違うことを知りました。災害別の地域の避難所がどこか、誰にでも一目でわかるようなMAP作成など、周知してください。</p>	1	<p>風水害時の避難所は地震の際の35か所のうち、浸水想定区域である高南小学校を除く34か所に加え豊島区役所1階のとしまセンタースクエアを開放いたします。 今後は豊島区防災地図等により明確に記載を行うと同時に、災害時における情報発信に重点を置き、実施していきたいと考えております。</p>
8	<p>これからの豊島区の避難所や防災などは、避難者に我慢をさせないスフィア基準を取り入れてください。</p>	1	<p>災害時にスフィア基準を全て満たすことは困難ですが、避難所の環境改善が重要であることは認識しています。 そのため、避難者に我慢させない避難生活を送っていただくためには、避難者のニーズをいち早く把握し、迅速に対応することが望ましく、避難者(在宅含む)に対して聞き取りシートで要望を伺う等、避難者に寄り添った支援に努めてまいります。</p>
9	<p>区民ひろばは、「セーフコミュニティの拠点及び地域防災計画に基づく補助救援センターとしての取り組みを進める」とありますが、自主運営を行っている区民ひろばとそうでない区民ひろばの場合、それぞれ災害時にはどのようにセンターとして取り組みを行うのか、また誰が指揮を行うのか誰にでもわかるように公表してください。</p>	1	<p>運営の方法にかかわらず、豊島区災害対策本部地域防災部の指示により、区民ひろばを補助・救援センターとして開設・運営します。 ① 区民ひろば開館時間中に発災した場合は、利用者保護を実施します。(区民ひろば職員) ② 一旦閉館後、施設の安全点検を実施します。(区民ひろば職員)。 ③ 地域防災部の指示により補助救援センターを開設し、救援センターでの収容が困難な方を救援センターから移送します。(行政職員+救援センター運営者(地域住民)) 発災時は、区の職員は救援センターに参集するため、受入れ体制が整った補助救援センターから、本部の指示により避難者を移動させる流れとなっています。また、開設していない避難所への避難を防ぐため、平時の公表は積極的には行っていません。</p>

10	<p>まだ建て替えを行っていない区内の小中学校の中には築年数がたっているだけでなく、今までの増改築によって校舎内が複雑になっている学校もあります。今後長寿命化改修を行うとありましたが、子どもたちの学びや学校生活の変化、また災害時や防犯上からも校舎内のレイアウトや設備を今の時代に合ったものに変えて頂きたいです。</p>	1	<p>今後長寿命化改修を行う際には、老朽化した校舎の問題点を解消しながら教育環境や防災機能を向上させ、使いやすく今の時代にあったレイアウトや設備に更新していきます。</p>
11	<p>小学校改修計画にあたっては地域・PTA・学童・学校などが一緒に作り上げ、地域に開かれたみんなの学校にしてください。</p>	1	<p>学校を改築する時には、地域・PTA・学童(子どもスキップ)・学校などからなる「建替えを考える会」から、新校舎についての基本的な考え方を協議・検討した「建替えに関する提言書」を受け、その内容に基づいて進めています。</p>
12	<p>旅客機の都心低空飛行が2/2から始まり、飛行初日に千早付近で落下物が目撃されニュースになりました。目撃された方は警察・国交省、また区にも通報したそうですが、航空会社からの落下物報告がなく、被害届も出ていないのでそのままになってしまったそうです。落下物が目撃された際には区でも落下物の捜索を行う、国や東京都と連携して情報収集にあたるなど対応を行ってください。</p> <p>「羽田空港機能強化」により豊島区上空を旅客機が飛行することに伴い、騒音測定を区も設置すると伺いましたが、いつからどこに設置されるのでしょうか？</p> <p>実機飛行では千早小学校屋上の測定で国交省の説明を上回る最大73デシベルを計測しています。学校として騒音対策が必要と思います。対応をお願いします。</p> <p>日本一の人口密度の豊島区上空を飛行機が低空で南風晴天時に毎日飛びます。セーフコミュニティ都市としても対策を行ってください。</p>	3	<p>区としては、首都圏の国際競争力強化などを目的とした羽田空港の機能強化の必要性は理解しているところですが、同時にセーフコミュニティ国際認証都市として区民の皆様の安全安心を、ないがしろにはしないと認識しています。</p> <p>航空機からの落下物はあってはならないものであり、2018年3月にとりまとめられた落下物対策総合パッケージの取り組みや騒音対策の徹底を、今後も引き続き国に要望してまいります。</p> <p>2月2日の飛行機からの部品落下の目撃情報につきましては、国の調査によりますと、当該時間帯に飛行していた航空会社の機体調査の結果、特に脱落等はなかったと聞いています。今後落下物に関する情報が寄せられましたら、国や都と連携して情報収集にあたります。</p> <p>騒音測定に関しまして、国が設置しているような常設の測定局ではありませんが、飛行経路上における測定を予定しています。</p> <p>騒音対策につきましては、引き続き国に対して、低騒音機の導入促進や最新技術・知見の反映など、対策の強化を求めてまいります。</p>
13	<p>花咲公園にできた「トキワ荘ミュージアム」により公園面積が半分近く減りました。近くにできた南長崎三丁目仮児童遊園は高い柵の中に砂利を敷いただけで、利用時間も9時から夕方4時半までと短い時間で施錠され、これでは代替の公園として不十分です。一日でも早く新しい公園をつくってください。</p>	1	<p>南長崎花咲公園(通称:トキワ荘公園)内での「トキワ荘マンガアニメミュージアム」建設に伴う公園機能の代替えとして、南長崎三丁目仮児童遊園を令和元年11月に開園しました。</p> <p>当仮児童遊園については、まずは暫定整備を施し開園し、暫くは地域の皆様に日常や地域行事等で利用していただき、地域にとって相応しい整備計画案を地域の皆様と相談しながら作り上げていく予定です。</p>

14	南長崎中央公園の芝生がほとんどなくなり、風の強い日などは砂ぼこりが凄いです。また木の根が土から出ているなど、以前に比べて手入れが足りないように感じます。区内公園の定期的なチェックをお願いします。	1	南長崎スポーツ公園内の芝生は日陰となっている箇所もあり、なかなか生育しない状況のため苦慮しており、芝養生のための立ち入り禁止期間を設けるなどして、芝生広場の復活を目指してまいります。また、日常管理につきましては、指定管理者に委託をしておりますので、前述の芝生の件と併せまして指示してまいります。
15	中小規模公園活用プロジェクトの“禁止ではなく、「できる」を伝えるサイン”表示に期待します。	1	ご期待をいただき誠にありがとうございます。これからも利用者の皆様方の声を直接伺い、公園ごと、利用者のみなさまにとって相応しいルールを作り、公園がより活用されるよう、中小規模公園活用プロジェクトを進めてまいります。
16	区内小中学校支援級の児童・生徒たちが年に一度の舞台発表を行う「まとめ展」が区民センター多目的ホール（収容500名）で行われましたが、児童・生徒・引率教員・関係者だけでも半分以上の席数が必要なため、観覧できる人数に限られ、舞台発表を観れない家族や、祖父母を呼ぶのを諦めた人もいます。また毎年恒例の中学生の和太鼓演奏も会場都合で取りやめになったと聞きます。支援級の子どものための大事な発表の機会です。展示発表会場含め、以前のような規模の会場で来年度以降行えるよう配慮ください。	1	「まとめ展」は特別支援学級の固定学級に在籍する児童・生徒の1年間の学習の成果を発表し、児童・生徒が相互に学び合い、成長を確かめ合う場とすることを目的として開催しています。会場変更にあたり、児童・生徒の日ごろの学習成果が存分に発揮できるよう、まとめ展委員会・企画部会で様々なシミュレーションや検討を行い、実施しました。区民センターの舞台会場は児童・生徒が緊張しすぎることのない規模で、日ごろの生き活きとした表情をご覧いただけたと考えています。また、最新機器を活用した、見事な太鼓演奏を披露し、昨年度までとは違った素晴らしい舞台発表になったと自負しています。作品展示においても、1年間の成果を無理のない範囲で発揮し、一人一人の個性あふれる力作をご覧いただきました。座席数や展示スペースは減りましたが、保護者優先席を設けるなどの工夫を行い、「まとめ展」の目的を十分に達成することができたと考え、今後も区民センターでの実施といたします。
17	新しくできたブリリアホールはとてもきれいですが、会場の階段・エスカレーター・エレベーターと全てがホールの片側に集中されているため、人が多すぎて危険です。対策をお願いします。	1	劇場への入退館の安全確保については、開場から開演までの時間を十分確保したり、必要に応じ、建物外での整列入場等の対応を主催者に指導しています。また、本年6月末のHareza池袋グランドオープン後は、2階部分の区民センターへの連絡通路だけでなく、シネコン・オフィス棟への通路も開通するため、退場時の人の流れが分散されるものと考えております。いづれにしましても、施設運用にあたり、適切な安全管理を心掛けてまいります。
18	IKEBUSは冷暖房がなく、夏は乗客も運転手も暑すぎて乗車できないのではないかと心配です。またAルートは毎回30分以上待っても来ないので対策が必要です。	1	IKEBUSの天井には断熱材を配しており、室内は日傘の下にいるような空間であるとともに、後部に開口部分がありますので、炎天下での実験でも、車内温度は外気温と同程度であると確認しています。しかしながら、夏季は、運転手の早めの交代や、お客様への暑さ対策など、安全運行に向けた対策を講じてまいります。また、運行時間に関しましては、これまでの運行状況を参考にルートやタイヤ等の見直しを行うなど定時性の向上に努めます。

19	区民の税金で運行されているので、本当はIKEBUSよりもコミュニティバスを池袋駅周辺だけでなく、区内全域で走ってほしいです。	1	豊島区は他の地域と比較して公共交通が充実した地域です。しかし、木造密集地域など道路基盤が脆弱な地域では、小さいバスでも走行することができない状況です。そのような地域では、現在、都市計画道路の整備を進めており、その道路の開通に併せた新たなバス路線の検討を行ってまいります。
20	池袋駅周辺の開発や劇場など、多くの人が集まる施設がさらに多くなりましたが、災害時の避難場所や救援、また怪我などの際の病院施設のキャパがとても少ないように感じます。帰宅困難者や手当が必要な方（区民以外の方も）をどのように受け入れるのでしょうか？また「としまみどりの防災公園」では何人まで収容可能なのでしょうか？とても心配です。	1	池袋駅周辺では、首都直下地震が発生した場合、最大で約5万3千人の帰宅困難者が発生すると想定されています。池袋駅の一日あたりの乗降客数は全国第二位の約260万人であり、災害時の帰宅困難者対策は区の喫緊の課題です。区は、東京都、警察署・消防署、鉄道事業者、駅周辺の事業者等と連携し、毎年11月に帰宅困難者対策訓練を実施しています。としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）は、南池袋公園の約3倍の6,000㎡の芝生面積があり、一時待機場所として利用が可能です。公園は全体面積で約1.7haあり、約2,500名の収容を想定しています。
21	「おとな食堂」はとても素敵な取り組みだと思います。1か所だけでなく、区内複数か所で行ってください。	1	一人暮らしの高齢者の不健康や社会的孤立、孤食を防ぐ取り組みとして、今後も「おとな食堂」の目的の普及啓発を行いつつ、このような地域の中の居場所、交流の場を増やしていきます。
22	DV及びデートDV防止対策事業での、区立中学・高校等へのパンフレット配布の他、外部講師等派遣して、事例なども交えて生徒たちに伝えていただきたいです。	1	既に、区立中学校においてはデートDV予防教室実施の中で、外部講師が事例を交えて生徒に伝えていきます。また、昨年7月と今年1月には私立中学校及び都立・私立高等学校に、デートDV予防教室開催を検討いただくよう通知を発出したところです。今後も引き続きデートDVのパンフレット配付の際に、デートDV予防の重要性とともに、外部講師派遣の説明案内を行う予定です。
23	小規模保育施設は認可保育園と保育士配置基準などが同じ基準の、A型のみにしてください。	1	区内に小規模保育施設は、A型が18施設、B型が2施設、C型が4施設あります。本区において、将来的にA型のみとする計画はありませんが、各保育施設の特色を生かしつつ、「豊島区保育の質ガイドライン」の普及・啓発などを通じて、更なる保育の質の向上のため取り組んでまいります。

24	<p>保育中の事故が全国でも毎年起きています、すべての保育施設では「日本スポーツ振興協会災害給付制度」や他の傷害保険への加入が義務付けされていると説明されましたが、各保育園のHP等を拝見しても公表していない施設がほとんどです。区の「保育園入園のしおり」への記載や公表をお願いします。</p>	1	<p>東京都の認可保育所においては、保育所設置認可当事務取扱要綱により利用する子どもに関して保険または共済制度への加入することを必須としています。一方で加入している契約は園ごとに異なっており、情報量の限られる入園のしおりにすべて掲載することは困難です。しかしながらご自身に合う保育園を選ぶには事前に施設を見学することを国も推奨しておりますので、どのような保険に加入しているかは施設見学の際に各保育施設に直接ご確認ください。</p>
25	<p>園庭のない保育園が増え、また公園も面積が少ないことから保育園の散歩ができなかったり利用人数が多いため、遊びを制限せざるを得ない状況です。子どもたちがしっかりと遊びこめる環境をつくってください。</p>	1	<p>園外活動の確保については、区内小中学校の校庭や区民ひろばを開放しています。6月に造幣局跡地に区内最大級の防災公園が誕生します。また、隣接地には、子ども達が安心して利用できる広場「としまキッズ・パーク」を整備中です。</p>
26	<p>「保育園入園申込説明会」はただ全体の説明を職員の方から行うだけでなく、利用希望者からの全体質問で、さらにチェックポイントがわかりやすくなります。今後も複数回での開催と全体の質疑応答時間を設けていただきたいです。</p>	1	<p>令和元年度の入園説明会では全体質問を行わず、その分個別質問で一人ひとりの相談時間を長くとることができました。それでも限られた時間ですので、みなさまからよくいただく質問を入園説明会開始前に会場内スクリーンで放映いたしました。また当日にみなさまから個別質問の際にいただいた質問については、区ホームページにて公開しております。なお、平日の開庁時間に、みなさまからの入園等に関するご相談をお受けしておりますので、入園説明会で不足する部分につきましては、そちらもあわせてご活用いただければと考えております。保護者のみなさまにとって有意義な時間となるよう工夫してまいりますので、ご理解のほど、よろしく申し上げます。</p>
27	<p>庁舎直結の東池袋駅は1日の乗降客数が4.4万人にも関わらず、ホームから改札までの階段がとても狭く通勤・通学時間帯はとても危険です。またホームから改札への車椅子・ベビーカーでの移動がとても大変です。バリアフリー対策をお願いします。</p>	1	<p>庁舎に直結する東京地下鉄株式会社(以下、東京メトロ)東池袋駅は池袋駅地区バリアフリー基本構想(平成31年4月改定)における重点整備地区にあります。昭和三十九年開業の古い駅です。現在、駅ではホームと改札口階を4本の階段、2本のエスカレーターおよび、エレベーター1機により結び、また、都電との乗り換えのための、垂直移動の利便性向上を図ることを進めているところです。区はいただいたご意見を課題として東京メトロへお伝えするとともに、基本構想に基づくバリアフリー対策を引き続き働きかけてまいります。</p>
28	<p>中高生ジャンプが豊島区内2か所のみというのはとても少ないです。利用する場合などどうしても繁華街を通ることになります。せめてあと2か所設置してください。</p>	1	<p>中高生センタージャンプは区内の東西に1か所ずつ設置し、中高生の自主的な活動を支援しています。中高生は移動手段が多岐にわたること、移動距離が延びること、その他の活動場所が増えることから、現在のところ増設の予定はありませんが、日曜日も開館して開設日数を増やすなど、中高生が利用しやすい施設・事業の運営を図ってまいります。</p>

29	池袋本町プレーパークのような公園を区内でもっと広げてください。またプレーカーの導入もしてください。	1	現状では区内に、常設のプレーパークとして利用できる場所はありませんが、機会を逃さないよう情報収集等を行っていきます。身近な地域で、多様な体験ができるよう出張プレーパークの充実を図ります。 なお、プレーカーについては導入を考えておりません。
30	今回のコロナ対策による学校臨時休校で、学童クラブの対応は大変助かりました、ありがとうございます。一方で、実際には保護者が働いているが学童クラブに入っていない家庭では、子どもの居場所や昼食などに困ったり、校庭開放以外は図書館・区民ひろば・ジャンプなども閉館してしまい困ってしまいました。大勢の人数が集まることは望ましくありませんが、たとえば図書館は貸出のみ行う、時間を分けて区民ひろばを利用するなどの対応も行って頂きたいです。	1	区では、国の緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部の施設の休館及びサービスの利用を休止しています。今後の状況によっては、期間の延長や対象施設を拡大する可能性があります。 区民ひろばは、感染症拡大防止の観点から5月6日まで臨時休館としています。区立図書館につきましても、5月6日まで全館を臨時休館といたします。お困りのご事情は承知しておりますが、図書館館施設の面積や来館者数等を考慮しますと、やむを得ない措置と考えています。 また、ジャンプにつきましては5月6日まで臨時休館としておりますが、電話やメールでの相談には引き続き対応いたします。 ご不便をおかけして大変申し訳ございませんが、ご理解のほどお願い申し上げます。今後の施設の状況につきましては随時、区HP等でも情報発信をまいります。
31	学童クラブでのおやつの時間が遅すぎます。給食を12時ごろに食べた後、学童クラブの児童は17時過ぎまで何も口にできません。せめて下校の早い低学年だけでもおやつを16時前に食べさせていただけたく、毎年お願いしています。宜しくお願いします。	1	現在、豊島区の学童クラブの間食提供につきましては、17時以降の保育利用者で希望される方のみを対象としております。その理由といたしましては、 ① 小学校の授業終了時間が延び、学童クラブへの登室時間も遅くなっていること ② ①に伴い、放課後子どもの自主的な遊びや活動(各種プログラム・放課後子ども教室など)の開始時間が15時半以降となる日が多いこと ③ 保護者の就労時間が夜間に延び、学童クラブの利用時間が19時まで延長になったこと ④ 利用人数に対し、安全や衛生に配慮し、万全を期して間食を提供するための準備やスペースの確保が困難なこと 等から、児童の遊びや生活の流れ、間食を提供する時間や内容を考慮し、17時に提供をしており、現在のところ変更の予定はございません。 尚、夏休み期間中につきましては、万全を期して間食の提供が可能との判断から、水分補給も兼ね、今後も15時から16時の間での提供を引続き実施してまいります。また、緊急事態宣言発令中は応急利用を実施していますが、①～④に該当しないことから、夏季と同様に、間食提供時間の繰上げを実施します。

32	<p>学童クラブの夏休み等はおやつを16時前に提供して頂きありがとうございました。4月の新年度には、3月末まで保育園で生活し3時におやつを食べていた新1年生が入ってきます。特に春休みの間こそ、おやつ16時前提供をお願いします。</p>	1	<p>現在、豊島区の学童クラブの間食提供につきましては、17時以降の保育利用者で希望される方のみを対象としております。その理由といたしましては、 ① 小学校の授業終了時間が延び、学童クラブへの登室時間も遅くなっていること ② ①に伴い、放課後子どもの自主的な遊びや活動(各種プログラム・放課後子ども教室など)の開始時間が15時半以降となる日が多いこと ③ 保護者の就労時間が夜間に延び、学童クラブの利用時間が19時まで延長になったこと ④ 新1年生に限ったとしても、利用人数に対し、安全や衛生に配慮し、万全を期して間食を提供するための準備やスペースの確保が困難なこと 等から、児童の遊びや生活の流れ、間食を提供する時間や内容を考慮し、17時に提供をしており、現在のところ変更の予定はございません。 尚、夏休み期間中につきましては、万全を期して間食の提供が可能との判断から、水分補給も兼ね、今後も15時から16時の間での提供を引続き実施してまいります。また、緊急事態宣言発令中は応急利用を実施していますが、①～④に該当しないことから、新1年生に限らず、夏季と同様に、間食提供時間の繰上げを実施します。</p>
33	<p>学童クラブは子どもにとって居場所としてだけでなく、生活の場としてまた子どもたちが成長するのに大きな力とサポートを頂いています。ただこの間、スキップの非常勤指導員の方が欠員の状態が長く続いています。子どもたちの安全や指導のためにも、指導員の欠員にならないようにしてください。</p>	1	<p>令和2年度より会計年度任用職員制度が始まり、子どもスキップに勤務する学童指導専門員、学童指導員、スクール・スキップサポーターの報酬は、大幅に改善されました。それにより、昨年度4月の欠員24人から、今年度4月の欠員は9人となり、22施設中、14施設では欠員は解消されております。</p>
34	<p>障害児の加配対応が、今までの障害児3名に1名から新年度より障害児5名に1名の対応になると伺いました。特に障害を持った子どもたちは相手とのコミュニケーションをとるのに言葉や対処の仕方がうまくできないなどあり、最初職員などが間にたって他の子どもたちと関われるよう、お互いが理解できるよう丁寧に見ていただき、とても感謝しています。豊島区の学童クラブは普通級、支援級や、支援学校の子どもたちも一緒に過ごせ、地域の中で成長できる貴重な居場所です。今までのように専門性をもって子どもたちの個性に合わせた対応や丁寧な関りを行っていただくためにも加配対応の基準を悪くしないでください。</p>	1	<p>平成30年度より、障害や配慮が必要な子どもに対応するスクール・スキップサポーターを導入しています。令和2年4月現在、既に20施設に配置されていることから、障害児数による職員の加配数を見直しました。 また、子ども研修実施計画に基づき、障害や配慮が必要な子どもへの対応の研修を行い、スクール・スキップサポーター以外の職員も、スキルを高め、全員で対応できるようにしています。</p>

35	学童指導員が長く勤められるよう、待遇の改善や非常勤から正規の採用につながるような制度をつくってください。	1	令和2年度より会計年度任用職員制度が始まり、子どもスキップに勤務する学童指導専門員、学童指導員、スクール・スキップサポーターも会計年度任用職員となり、報酬が大幅に改善されました。 子どもスキップの正規職員は、特別区の採用試験・選考を経て採用されています。特別区では、民間企業等での従事歴が一定期間以上ある方を対象とした経験者採用試験・選考を実施しており、会計年度任用職員(非常勤職員)も要件を満たせば受験可能です。
36	小学校就学时購入が必要な準備品でもリサイクルが比較的可能な鍵盤ハーモニカ、リコーダーなど小学校単位でリサイクル品の管理や貸し出しなどできるようにしてください。	1	区立小学校では、PTAが主体となって使わなくなった鍵盤ハーモニカやリコーダーなどを集めて、必要な方にリサイクルしていただく仕組みを作っているところもあります。このような取り組みが多く学校の学校で広まるよう、PTAを通して働きかけていきたいと考えています。
37	中学校の制服や体操着などのリサイクルをおこなえるようにしてください。	1	区立中学校では、サイズが合わなくなってしまった制服や体操着などを集めて、必要な方にリサイクルしていただく仕組みを作っているところもあります。このような取り組みが多く学校の学校で広まるよう、PTAを通して働きかけていきたいと考えています。
38	学校用品・制服等のリサイクルについては「豊島区リサイクルセンター」などで常時在庫を持ったり、寄付された物品をメンテナンス出来るようにしてください。	1	豊島リサイクルセンターでは、家庭から出された粗大ごみの中から、再利用できる家具等を簡易な修理・清掃の上、展示し、希望者の方に抽選により無料提供していますが、衣類に関しては、メンテナンス等の対応が難しい状況です。
39	中学の体操着等の個人名の刺繍は値段も高くなり、リサイクルしにくくなるので廃止してください。	1	体操着等における個人名の入れ方については、各学校へリサイクルのしやすさを踏まえたやり方で行うよう周知いたします。

40	<p>中学の修学旅行代金が学校によって大きく違います。せめて差額は五千円程度にしてください。</p>	1	<p>修学旅行の行程は各学校ごとで決定されます。それにより差額が生じますが、負担が大きくならないように指導していきます。</p>
41	<p>リコーダー、鍵盤ハーモニカなど同じ商品でも学校ごとに値段が違います。リーズナブルなもので区内どこの小学校で購入しても同じ値段に統一して頂きたいです。</p>	1	<p>リコーダーや鍵盤ハーモニカなどは、学校ごとに製品を決めているため統一は図れておりません。各学校へは、使用目的に合致した安価な製品を選ぶよう周知いたします。</p>
42	<p>「区民ふれあい防災コンクール」など防災の取り組みを行うことを通じて「いざ」というときのシミュレーションを行うことは地域のコミュニケーション作りのキッカケにもなりとても大切な機会だと思います。町会単位だけでなく、新しい形での参加も含め継続して頂きたいです。</p>	1	<p>「区民ふれあい防災コンクール」につきましては、消防署主催で行っている事業であり本区としては直近の参加実績はございませんでした。 また本区では、令和元年度より町会単位ではなく親子世代も含めた、楽しみながら防災知識を学ぶことのできるイベント型訓練「としまDOKIDOKI防災フェス」を実施しています。(令和2年度については10月18日(日)に今夏竣工予定の防災公園(東池袋4-42)にて実施予定) また、より実務的な訓練におきましても、避難所となる学校ごとに「避難所開設運営キット」を使用した訓練を町会だけではなく地域全体を巻き込んだ形での実施を検討しており、地域のコミュニケーション作りのキッカケの場として是非参加していただければ幸いです。</p>
43	<p>前回の台風の際、豊島区は水害や土砂災害の危険性が低いにも関わらず、まるで全区域が大危険地域のような避難勧告をしていたため、安全地域に住んでいる方まで大雨の中で避難所に避難し、逆に危険をまねいたと感じます。全区的な避難勧告はせず、きちんとエリア別に危険情報をわけ、なるべく自宅待機を優先した案内にしてほしい。</p>	1	<p>この度は区民の皆様にご多大な不安を与えてしまい、申し訳ございませんでした。 今後はご指摘いただきましたとおり、状況に応じたエリア別の避難勧告等を実施すると同時に、状況に応じた適切な情報発信に努めてまいります。</p>
44	<p>豊島区の避難勧告は高齢者などの体の弱い方に特に早めの避難を勧告していましたが、その反面、避難所には介護員も医療スタッフもおりませんでした。持病がある人が薬を忘れて雨の中で戻り、足腰が悪い人が体育館の床で一人で過ごすなど、危険だと思います。配慮が必要な方を呼ぶのであれば、それなりの人員や機材薬品等を用意すべきであり、それが難しいのであれば自宅待機を呼び掛けてほしい。</p>	1	<p>豊島区として10月12日台風19号の際には、午前9時頃に警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」を全域に発令をしましたが、ご指摘のとおり医療スタッフ及び介護員がいない中での避難は、非常に厳しいものだと考えています。今回の台風19号の教訓として、今後、風水害時にも、地震などの災害時と同様に関係機関との連携を図り、救援センター地域本部12か所に医療救護所の開設をし、適切な人員や薬品などの必要な物資を配置できるよう努めてまいります。 また地域の方と密に連携して、避難所運営を円滑に行えるよう検討・協議を行ってまいります。 発令につきましても、気象情報等を総合的に判断し、地域・対象者を絞りながら発令を行い、避難指示及び自宅待機等の指示を的確に行ってまいりますので、ご理解ご協力よろしくをお願いいたします。</p>

45	<p>豊島区の避難所では、スマートフォンの充電ができず、ネット環境も悪く、さらに被害情報を伝えるテレビが見えにくい場所もありました。災害時の情報はなにより重要です。避難所には充電器を複数用意し、学校や区民ひろばにはフリーWi-Fiの設置、体育館にも複数のテレビ設置をしてほしい。</p>	1	<p>災害時の情報収集については課題として認識しており、令和2年度の新規事業において、大規模停電対策用としてスマートフォンの充電器を導入予定です。また豊島区では各救援センターに防災用のFreeWi-Fiを設置しており、災害時に誰でも使用できるように開放いたします。なお、不特定多数の方が避難所へ避難することに鑑みて、消灯時間を過ぎてもスマートフォンを操作して周辺に避難をしている方が就寝できなかったり、接続できない人が発生してしまう恐れがあるため、施設内ではなく施設外に設置して外向けに電波を発信しております。他施設への防災用Wi-Fiの設置につきましても、各関係部署と協議・検討してまいります。</p>
46	<p>いくつかの区立公園には噴水や手洗いなどの水設備がありますが、春から秋にかけて、水たまりで蚊が大量発生しています。例えば上池袋図書館横の公園、サンシャインの西友横の公園などは、ベンチに1分も座れないほどの蚊が発生しています。現状でも薬剤散布などはしていると思いますが、まったく不足していますので、月1程度で全公園を定点調査し、必要な対策を講じてほしい。常に水を流し続けてボウフラ発生を防ぐか、蚊の除去薬の頒布回数を大幅増加するなどの対策が必要です。</p>	1	<p>豊島区の公園には、いくつかの水施設があり、ゴールデンウィークと夏季を中心に稼働させております。未稼働期間での雨天時には、一部で水たまりとなる個所がありますので、清掃を徹底してまいります。</p>
47	<p>区立公園は過去にオウム事件などのテロ対策の名目でゴミ箱が撤去されましたが、あくまで一時的な対応かと思えば、そのまま撤去が続いています。非常に不便ですし、ポイ捨てを誘発させますので、公園のゴミ箱を復活させてください。また、利便性を否定してでも撤去する統計的な根拠を示してください。</p>	1	<p>公園緑地課では家庭ごみの投棄、ごみ箱の炎上などの対策に長年苦慮してきました。隣接7区の対応も調査し平成25年から順次住宅地域の5地区をモデルにゴミ箱の撤去に取り組んできました。その後、地域の方々の意見を参考に清掃の強化やゴミ持ち帰りの周知の徹底を図り、平成28年度から全面的に撤去しています。この結果大幅にゴミが削減され、処分経費の削減にもつながっています。現在のところ、池袋駅周辺の繁華街にある5公園につきましてはゴミ箱を設置しています。豊島区といたしましては環境モデル都市に立候補しており、ゴミの削減に努めていくことから、ゴミ箱の再設置は予定していません。</p>
48	<p>ハレザの前の道路はタイルなどが揃ってキレイですが、水道管工事などで掘り起こした後、タイルではなくアスファルトで埋められてツギハギ状態の道路が多く、景観が汚いです。きれいな赤レンガ道路の一部が黒いアスファルトとか、悲しくなります。区はもちろんのこと、国や都にも働きかけ、原状回復するときは、周囲の色や材質をあわせた形にするようにしてください。せめて色くらいは揃えてほしい。</p>	1	<p>ハレザ池袋の道路整備は、周辺の再開発と合わせて進めております。この道路整備の前に、水道管やガス管などの地下埋設物を移設更新する工事を行います。その後、インターロッキングなどの景観整備を行います。一時的に、アスファルト舗装による仮舗装の状態になりますが、速やかに景観整備を行い道路を利用される皆様にご不便をおかけしないよう努めてまいります。</p>
49	<p>区内各所にまちづくり用地という名目の空き地があります。将来的な都市整備の種地なのはわかりますが、何年も放置されています。ただ空き地にするだけでは隣地の採光用にしかならず、資産の無駄に思います。これを活用する方法を検討し、ワークショップをたちあげてほしい。</p>	1	<p>まちづくり用地があるのは、木造密集地域であり、今後30年間に70%の確率で発生するといわれている首都直下地震等に備えて、空地を確保しております。このため、ひろば等整備の際には、区民の方に参加していただくワークショップ等を開催して、広く意見を聞きながら進めさせていただきますが、現状では、非常時に即応できる空地として管理してまいります。</p>

50	区立幼稚園では、延長保育も事前申請が必要であり、あまりにも不便です。シフトの関係もあるのですが、当日枠をもっと用意してほしい。	1	区立幼稚園ではお子様を安全にお預かりするために、事前に利用人数を確定し人員体制の構築を計っています。 そのため当日の受付は行っておりませんが、やむを得ない緊急の場合は各園にご相談ください。
51	区内の閉園報道をみると、保育園が急増した結果、粗雑な運営をする園も増えている印象をうけます。こういった不安を払拭するため、毎年全園を監査し、その情報を公開してください。望む情報は、設備の有無、設備の新しさ、先生の平均勤続年数など、客観的な指標です。	1	私立認可保育所及び地域型保育事業については、指導検査を実施し、指摘事項の一部をホームページで公開しています。ご要望の事項につきましては、検査対象ではありませんので、保育施設を選ぶ際は、是非一度、施設へ足を運んでいただき、設備の確認とともに施設の雰囲気を感じていただきますようお願いいたします。
52	児童相談所が住民の反対運動で1年延期する一方、全国的な人員不足も深刻だと聞きますので、いきなりの区で運営するのは事故等が心配です。建設中の児童相談所の建物は都に貸して、まずは都に運営をさせられないのでしょうか？	1	本区の児童相談所設置計画の背景には、全国的な児童虐待相談対応件数が増加の一途をたどるなか、東京都の児童相談所においても対応や支援が追いついていない現状があります。こうした現状を踏まえ、本区においては、「豊島区の子どもは豊島区が守る」という決意のもと、児童相談所の設置を決定しました。令和4年度中の開設準備に向けて、全国的な課題となっている人材不足に関しては、経験豊かな人材の確保や近隣自治体の児童相談所、一時保護所に職員の研修派遣を行うなど、計画的な取組みを通じて、万全な組織づくりを進めています。また、地域の子育て支援の拠点である子ども家庭支援センターとの役割を明確にし、児童虐待を取り巻く様々な課題に迅速かつ的確な対応を図るほか、急を要する事態にも躊躇なく適切に対応するなど、基礎自治体ならではの地域に根差したきめ細やかな児童相談体制の構築に向けて、区が運営する児童相談所は不可欠であると考えています。以上のことから、児童相談所につきましては、令和2年度より改築工事に着手し、職員の人材確保・育成、施設整備、国の政令指定手続き等の準備を整え、計画どおり、令和4年度に区で運営する予定です。
53	コロナの臨時休校で学童が開いていたのは助かりましたが、人手が足りていない様子でした。一方、図書館や区民ひろばが休館ですが、普段から子どもの対応も慣れていていると思いますので、その人員を有効活用してほしい。	1	区立小学校休校中、働く保護者への支援、児童の居場所確保の観点から、区内学童クラブ22施設では、区民ひろば職員、学校教職員、区職員の応援を受け、時間や場所を拡大し実施してまいりました。この間、図書館については図書資料の閲覧や席の利用等サービスの一部は休止しましたが、カウンターでの予約図書の貸出、返却業務があり、学童クラブへの応援は困難でした。一方、区民ひろばは休館のため、学童クラブへの応援体制を組み、ローテーションにより各スキップへ職員を派遣しました。4月10日以降の学童クラブにつきましては、緊急事態宣言に伴い臨時休止となりますが、医療従事者等、特別に保育が必要な方については、引続き、区民ひろば等の人員も活用しながら、応急利用を実施します。

54	東京で感染爆発が起き、再度の臨時休校が心配されています。海外では授業をネット配信させている国もあるそうです。家にネット環境がある方もいるでしょうが、PCもスマホもない方は少数だと思いますので、区でも実施してほしい。	1	区では、文部科学省などで公開している各教科等の家庭学習の教材及び工夫例、学習を支援するサイトの情報を、各学校を通じて、児童・生徒や保護者に周知しているところです。各サイトでは、パソコンやスマートフォンなどでインターネットに接続できる環境があれば学習できる体制が整備されており、これらについて家庭での活用を促すことを目的としています。 豊島区においては、現在タブレットPCが1人1台使用できるよう、ハード面も含めた環境整備を推進しています。環境の構築と併せて、ICT機器を活用した家庭学習の在り方についても、検討を進めてまいりたいと考えています。
55	今後、首都ロックダウンもありえると思います。その際の区の運営方針を早急にまとめるべきだと思います。すでに施設は閉めているようですが、窓口閉鎖までするのか等、公表していただきたい。	1	区の窓口について、区民の生活を維持するため、できる限り通常通り業務を行います。また、具体的な対応方針については国や東京都と密に連携をとり、区民の皆様にわかりやすく示していきたいと考えています。
56	コロナ対策でテレワークが推奨されています。感染拡大を防ぐため、完全に全員が自宅でも業務できるような体制を整備すべきだと思います。	1	区では、テレワークを2018年度と2019年度に試行的に行い、今後の本格実施に向けて検討を行っているところです。行政機関の性質上、テレワーク実施が困難な職場もあり、セキュリティ上、テレワークでは実施できない業務もありますが、可能な限り希望する職員がテレワークを実施できる環境整備を今後も行っていきたいと考えています。
57	夏のオリンピックが延期され、都もイベント等の自粛を求めています。区が主導し、まっさきに主催イベント等の縮小や中止をすすめてほしい。	1	区主催のイベントは基本的に中止及び延期等の対応としています。また、民間主催で行われるイベント等の開催可否につきましては、最終的に主催者側での判断になりますが、区からも自粛するよう働きかけていければと考えています。